

平成28年度入学試験問題（前期日程）

実技検査

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース

美術教育専修

注意事項

1. 解答時間は、240分である。
2. 試験開始の合図があるまで問題を見てはいけない。
3. 与えられた材料・用具以外は使用してはならない。

問 題

別紙の文章（『むかし、遠いところに』）を読み、以下の各問に答えなさい。

問 1

あなたが「小さなおばあさん」だったら、この世界の人間たちのために残しておく、とおきの2色はどのような色にしますか。

<注意事項>

- ・ 与えられた用紙と画材を使って、その2色の色紙をつくりなさい。
- ・ つくった色紙の一部を切り取り、色見本として解答用紙の指定の場所に貼り付けなさい。
- ・ 解答用紙に、2色の「色の名前」と「この色にした理由（100字以内）」をそれぞれ記入しなさい。

問 2

あなたが選んだ2色を活かして『むかし、遠いところに』をテーマに、自由に描きなさい。

<注意事項>

- ・ 与えられた用紙に描くこと。用紙の向きは自由。
- ・ 問1でつくった2色の色紙と、与えられた12色の色紙を全色使うこと。
- ・ 水彩絵の具と鉛筆も使用しても良い。

非公開

長田弘『記憶のつくり方詩集』より

平成28年度入学試験問題（前期日程）

実技検査

教育学部 学校教育教員養成課程
小・中学校教科教育コース

美術教育専修

出題の意図

題材として取り上げたのは、『深呼吸の必要』などで知られる詩人・長田弘による散文詩である。色彩やその生成に関するファンタジーを寓話的に語った作品で、言葉による表現ではあるが、豊かな視覚性を感じさせるものである。

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として子ども及び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求めている。その適性の中でも特に図工・美術教育での適性を見るために、実技検査においては「発想力及び造形力」を見ることにしている。

そのため、本問は先ず、この題材から、そこに込められたメタファーや構想を的確に読み取る読解力と感受性を問うものである。その上で、感じ取ったものを色彩や形に置き換え表現するための基礎的な造形力・構成力、さらに発想の独創性など、受験者の表現力を総合的に評価する。